



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部長 (氏名) 遊上 利之 TEL 06-6376-8088
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,091	△32.6	61	△77.3	180	△48.6	83	△69.6
2020年3月期第1四半期	12,009	3.4	269	17.8	351	9.1	276	73.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 89百万円 (△60.6%) 2020年3月期第1四半期 226百万円 (90.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.96	—
2020年3月期第1四半期	29.41	29.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	34,231	20,692	60.4
2020年3月期	35,564	21,192	59.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,687百万円 2020年3月期 21,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	38.00	55.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日 (2020年8月12日) 公表いたしました「2021年3月期 配当予想及び剰余金の配当等の決定に関する方針変更のお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,000	△28.4	140	△70.0	540	△13.2	270	△44.6	28.71
通期	41,000	△13.5	730	△22.7	1,230	△1.2	740	△42.0	78.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	11,025,032株	2020年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,825,354株	2020年3月期	1,615,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	9,357,178株	2020年3月期1Q	9,391,848株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前期に発生した新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令により、事業の休業要請や外出自粛要請が本格化し、外食・レジャー・旅行関連の個人支出の激激な減少とともに、企業の経済活動が急ブレーキがかかった状況となり、企業業績の悪化を招きました。当該宣言解除後も感染症の収束の目処が立たない中、3密を避けるため様々な人の集まりが自粛され、回復に向けた動きは鈍く、第2波・第3波への懸念もあり将来の見通しについて極めて不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいても食生活に関わる変化が業績に大きく影響しておりますが、「食に対する安心、安全」へのこだわりとともに、多様化するお客様のニーズに応えるべく新商品の開発と、新規店舗物件の獲得に取り組み、利益の確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高80億91百万円（前年同四半期比32.6%減）、営業利益61百万円（同77.3%減）、経常利益1億80百万円（同48.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益83百万円（同69.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

4月は共通ポイント最大手の「楽天ポイント」を導入いたしました。全国1億以上のユーザーを抱える楽天ポイントは、これまで以上にほっかほっか亭でのお弁当購入がよりお得になります。店舗ではご来店されたお客様へ「ほっかほっか亭楽天ポイントカード」の入会を積極的におすすしめし、会員数向上に努めております。昨年のキャッシュレス決済導入に加え、一層ほっかほっか亭ご来店へのきっかけ作りに繋げております。5月は初夏の新商品として温玉しらす丼、冷しうどんシリーズを発売。そして、ほっかほっか亭オリジナルすみっこぐらし「タンブラーボトル」が当たる春のすみっこぐらしキャンペーンを開催いたしました。たくさんすみっこぐらしファン層にアプローチすることで、すみっこぐらしべんとうの認知を拡大しております。6月にはほっかほっか亭の看板メニューのひとつ、チキン南蛮をリニューアルいたしました。衣、タルタルソース、黒酢を見直し、たっぷりふんだんに使用したお弁当に生まれ変わり、たくさんの高評価をいただきました。アプリや楽天ポイントとも連動し、様々なチャネルでのPRを展開いたしました。また、すみっこぐらしプレミアムキャンペーンと題し、オリジナルすみっこぐらし「てのりぬいぐるみ」をプレゼントする企画を年間通して実施しております。

持ち帰り弁当事業は、売上高40億35百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益2億24百万円（同19.7%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、新型コロナウイルスの影響による営業自粛により、飲食店を中心とする委託店舗の売上高に大きな影響を受けました。かかる状況下で、各委託店舗及びビルオーナーと緊密な連携を図ることにより、空室の抑制、低採算店舗の入替による物件稼働率の向上などによる収益の向上に努め、事業の安定化を図ってまいりました。また、従来からの活動である自社運営サイト「店通（てんつう）」を通じた店舗業界への情報発信により、当社ブランドの浸透と当社サービスへの信頼感の向上に取り組んでまいりました。その結果、「店通」は月間120万PVを超える飲食業界の情報メディアとなり、コロナ禍の状況下における新常態の店舗の在り方の発信など、店舗委託事業の拡大に大きく貢献しております。

店舗委託事業は、売上高31億68百万円（前年同四半期比51.0%減）、営業利益2億14百万円（同6.9%減）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、新型コロナウイルスにより稼働休止等に伴う賃料減額及び賃貸借契約解約などの影響を一部受けました。かかる状況下で、ビルオーナーのニーズを的確に捉え、資産価値を向上するための運用提案、ビルの管理関連サービスの積極的な展開、様々な業態のテナントオーナー向けのサブリースの拡大を行ってまいりました。また、保有物件として当四半期において商業ビルを2棟購入し、収益の拡大を図りました。

店舗管理事業は、売上高1億77百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益45百万円（同49.3%減）となりました。

④物流食品加工事業

物流食品加工事業においては、物流サービスの提供、独自商品の食品加工販売という2本の柱に加え、企業の業務代行サービスという新しい取り組みを進めております。どのカテゴリーにおいても、取引先のニーズに誠実に応えて信頼とノウハウを着実に積み上げ、さらには、新しい価値の創造を実現すべく、視点やアプローチを変えて潜在的ニーズを引き出し、売上拡大を図ってまいります。

物流食品加工事業は、売上高4億92百万円(前年同四半期比28.1%減)、営業利益28百万円(同97.8%増)となりました。

⑤その他

フレッシュベーカー事業においては、「クインシー(パイン)」「カレーナン」をはじめとする季節商品の発売や「シフォンケーキ(抹茶とあずき)」などアイテムの充実を図り工場内では作業工程の見直しを行い、経費の削減・品質向上・販売強化に努めてまいりました。

また、仕出し事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい運営を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、通夜膳の個食化、ケータリングパーティにおけるトングを使用しない個食化対策、仕出し料理の品質向上、経費削減、組織形態の見直しにおける生産性の向上に努めてまいりました。

その他の事業は、売上高2億18百万円(前年同四半期比32.9%減)、営業損失1億32百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は342億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億33百万円減少しました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は135億38百万円となり前連結会計年度末に比べ8億32百万円減少しました。これは主に未払金が減少したことによるものです。

純資産は206億92百万円となり前連結会計年度末に比べ5億円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、自己株式の取得、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年6月2日の「2021年3月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,597	5,618
受取手形及び売掛金	1,299	1,295
商品及び製品	525	479
原材料及び貯蔵品	114	99
その他	1,036	1,103
貸倒引当金	△19	△26
流動資産合計	10,555	8,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,426	5,590
機械装置及び運搬具(純額)	445	476
工具、器具及び備品(純額)	277	255
土地	9,186	9,670
リース資産(純額)	38	21
建設仮勘定	156	297
有形固定資産合計	15,530	16,311
無形固定資産		
借地権	526	524
その他	124	115
無形固定資産合計	651	640
投資その他の資産		
投資有価証券	1,948	1,960
長期貸付金	12	12
敷金及び保証金	5,843	5,795
繰延税金資産	618	624
長期未収入金	537	536
その他	413	322
貸倒引当金	△545	△544
投資その他の資産合計	8,827	8,707
固定資産合計	25,009	25,660
資産合計	35,564	34,231

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728	1,747
短期借入金	319	107
1年内返済予定の長期借入金	1,015	940
未払金	853	270
未払法人税等	405	377
未払消費税等	135	114
賞与引当金	200	291
その他	1,956	1,710
流動負債合計	6,615	5,560
固定負債		
長期借入金	2,772	3,092
長期預り保証金	3,950	3,917
繰延税金負債	120	119
退職給付に係る負債	62	63
資産除去債務	466	456
その他	383	327
固定負債合計	7,755	7,978
負債合計	14,371	13,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,971	3,971
利益剰余金	15,659	15,385
自己株式	△2,269	△2,501
株主資本合計	21,397	20,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△209	△203
その他の包括利益累計額合計	△209	△203
新株予約権	4	4
非支配株主持分	—	—
純資産合計	21,192	20,692
負債純資産合計	35,564	34,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	12,009	8,091
売上原価	9,421	5,726
売上総利益	2,588	2,365
販売費及び一般管理費	2,318	2,304
営業利益	269	61
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	13
受取賃貸料	43	49
業務委託契約解約益	35	29
持分法による投資利益	1	7
その他	26	55
営業外収益合計	120	156
営業外費用		
支払利息	5	3
賃貸費用	18	21
業務委託契約解約損	—	2
その他	14	9
営業外費用合計	38	36
経常利益	351	180
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取補償金	14	—
その他	0	0
特別利益合計	14	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	11	24
減損損失	0	—
リース解約損	—	8
特別損失合計	12	32
税金等調整前四半期純利益	353	148
法人税、住民税及び事業税	90	71
法人税等調整額	△13	△7
法人税等合計	77	64
四半期純利益	276	83
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	276	83

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	276	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	△50	5
四半期包括利益	226	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	89
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。